



山脇 孝子さん
(ケーキ店経営)



お客さんの笑顔がやりがい

※撮影時のみマスクを外しています。

毎週土曜の午後のみオープンする「菓子工房 Sugarらふ」は、西川角地区の民家の一室にある。のれんをくぐると、ショーケースに並んだケーキが出迎えてくれた。

この日のメニューは、イチゴのタルトにショートケーキ、ガトーショコラなどの9種類。「メニューは毎週変えるようにこだわってます。毎回違う方がお客さんも楽しいだろうなって思うので」と店主の山脇孝子さん。オープンして3年。「甘すぎず食べやすい」と好評で、町内はもちろん、高知市などからも人が訪れるという。

山脇さんは四万十町出身で、40代半ばまでの24年間は看護師として働いていた。入院患者と向き合い、夜勤もこなす忙しい日々。働き始めた当初から、「ストレス発散」の趣味がケーキ作りだった。暇さえあれば新しいレシピに挑戦し、子どもに食べさせたり、職場に差し入れしたり。「食べてもらって、みんなが喜んでくれるのがすごく楽しかった」。

3人の子育てが一段落する頃、「以前から挑戦してみたかった自分の店を」と思い切って退職。夫が営む工務店の

事務所スペースを改装し、念願の菓子工房を開くことに。「飲食業の経験がない私にできるだろうか」。そんな不安を振り払うように準備を進めた。インスタグラムで宣伝し、緊張して迎えたオープン初日は、開店前から十数人の行列ができて驚いたという。

土曜の営業以外にも、火曜から金曜にはパースデーケーキの注文を受け付けている。受け取りに来た親子には、箱からケーキを出して見せる。「その瞬間、お子さんがすごい笑顔になるんですね。」

『かわいい、おいしそう』『イチゴがいっぱい乗っちゃう！』って。もうその笑顔がやりがいですね。ほんとに。

一度だけ、体調を崩して注文のケーキを作れず、断りの電話を入れた時は涙が止まらなかった。お客さんと自分自身に正直な人柄で、注文の絶えないケーキ店だ。



町にはこんな waza も
ちよい waza!! 仲間と空手に励む! 伊藤 いぶきさん(写真右) 昭和小学校5年

小学2年生から「拳心会」に所属し、仲間と一緒に空手の稽古に励む。順調に昇級し、現在は初段の腕前。「新しい友達ができるし、昇級していくのが楽しい。体力もちょっとついたと思う」。次の審査に向け、週2回の練習で技を磨く。

こだわりの「技」できらりと光る四万十町の人々を紹介します。
ちよいwaza!!は随時募集中!▶



四万十高校の魅力



四万十高校公式Instagram
@shimantokoukou
ぜひフォローしてください!!

学校行事紹介【修学旅行（1年生・2月上旬）】

2月4日（火）大雪の中大正駅を出発しました。行きも帰りも飛行機は揺れました。東京周辺はいいお天気で、病気やけがをする生徒もおらず、4日間充実した研修をすることができました。

1日目 日産横浜工場・横浜中華街 2日目 コクヨ・都内自主研修
3日目 東京ディズニーランド 4日目 水の科学館・お台場

生徒の感想（一部抜粋）

- ・常に友達と一緒に行動するのが不思議な感覚がした。普段は見れない友達の一面が見られて親睦を深めることができたと思う。
- ・ずっと集団行動だったので不便なこともありましたが、社会に出た時にある程度必要になることだと思ったので良い体験だったと思いました。
- ・譲り合いの心を学びました。5分前の行動ができるようになりました。
- ・自分1人だと悩まないことも、考えが違う人だと悩むことがあって、今まではそれに寄り添えなかったけど、考えを少しはくめるようになった。



#地域で挑戦する、高校生たち



「じゅうく。」での生徒の過ごし方はさまざまです。仲間同士で問題の解き方を教え合ったり、卒業生と在校生が交流したり、自分の進路相談をしたり。授業以外の時間でも、自分の「居場所」として利用してくれています。生徒それぞれが、充実した時間を過ごしてもらえると嬉しいです!

【お問い合わせ先】 町営塾「じゅうく。」 ☎050-5482-3339
人材育成推進センター ☎22-3163